

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

| | |
|------------------------------------|---|
| 件 名 及 び 数 量 | バスロケーションシステムによる旅行速度調査業務 |
| 契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 (沖縄県名護市大北4丁目28番34号) |
| 契 約 締 結 日 | 平成17年 4月 1日 |
| 契約の相手方の氏名 及び住所 | 沖電気工業(株)九州支社 福岡市中央区天神二丁目13番7号 |
| 契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む) | 10,221,750円 |
| 予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む) | 10,279,500円 |
| 随意契約によることと した理由 | 別紙のとおり |
| 備 考 | |

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随 意 契 約 理 由 書

1. 業 務 名 バスロケーションシステムによる旅行速度調査業務

2. 履 行 場 所 北部国道事務所管内

3. 契約の相手方 名 称 沖電気工業株式会社 九州支社
住 所 福岡市中央区天神２－１３－７

4. 随意契約適用法令 会計法第２９条の３第４項及び予決令第１０２条の４第３号

5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

（１）目的・内容

本業務は、前年度より実施しているバスロケーションシステム（インターネット対応携帯電話や自宅のパソコンで、「バス停に、いつバスが来て、いつ目的地に着くのか」をリアルタイムに知ることができるシステム）を用いた旅行速度調査業務である。

調査手法としては、平成１３年度から調査車両により実施しているがコスト縮減の観点及び常時データ所得による精度向上の観点から、バスを利用したシステムへと全国的に移行してきている。

（２）理 由

本業務は、上記の理由並びに渋滞に対する面的な調査が求められていることから、今後も、導入するバス路線は増えると考えられる。

本業務を遂行するにおいては、ＩＴＳの知識はもちろんバスロケーションシステムにおける幅広い高度な知識、経験も必要となってくる。

沖電気工業（株）はＩＴＳ（高度道路交通システム）分野でＩＴＳアプリケーションの各種情報を相互に伝達する通信システム（スマートゲートウェイ）の実現に向けて車間通信システム及びバスロケーションシステムの研究開発の取り組みを行っており、バスロケーションシステムにおいては、他地整においても実績が多くその分野に精通している会社である。

また今年度より、先行してバスロケーションシステム 沖電気工業（株）を導入・運営している南部国道事務所とバスロケーションシステムの統合運用を実施中であり、これからもシステムの互換性・整合性をとる必要があり、同バスロケーションシステムを引続き導入する必要がある。

以上のことから本業務は、沖電気工業（株）が最も適切な唯一の契約相手と判断し、会計法第２９条の３第４項及び予決令第１０２条の４第３号に基づき随意契約を行い本業務の円滑な遂行をはかるものである。